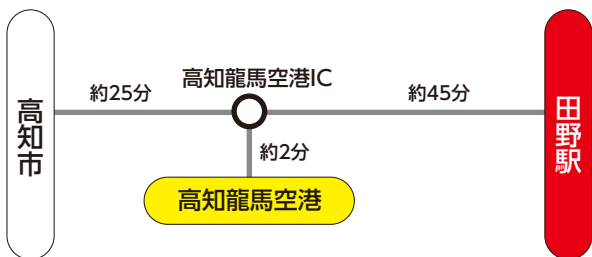


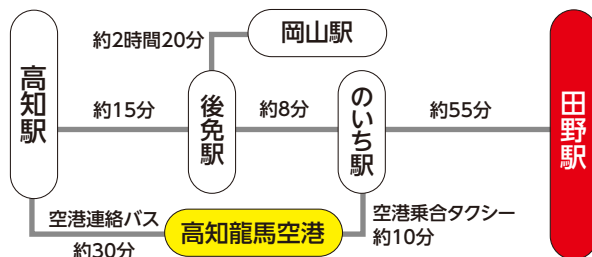
中芸地域までのアクセス



●お車ご利用の場合



●公共交通ご利用の場合



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850番地(安田町役場内)
Tel.0887-30-1865(平日8:30~16:30)

森林鉄道から 日本一のゆずロードへ



ゆずとりんてつ 検索
<https://yuzuroad.jp>

ゆずとりんてっ 日本遺産

西日本最大の森林鉄道から、日本一のゆずロードへ。



高知市立市民図書館所蔵 寺田正写真文庫



高知県の中芸地域は豊富な雨によって森林が広がり、古くから木材の生産・積出地として栄えてきました。明治末期から昭和中期にかけては、西日本最大の森林鉄道網が山から港へ木材を運び、そこから船で都市部へ木材を送り出していました。その後、新たな産業として、地域の料理で使われていたゆずの栽培に力を注ぎ、現在は日本一のゆず産地です。自然とともに生きてきた中芸地域の歴史を、香り豊かなゆずの食文化とともに巡ってみませんか。



ゆずと慎太郎

ゆずが中芸地域で栽培され始めた時期は分かっていませんが、「一家に一本」と言われるようになったのは、陸援隊長として活躍し、盟友の坂本龍馬とともに暗殺された北川村出身の幕末の志士、中岡慎太郎(1838-1867)がゆず栽培を奨励したことが始まりと言われています。土佐は、安政元年(1854)、翌2年(1855)と相次いで地震に見舞われました。中岡慎太郎は、病気であった大庄屋の父に代わり、農民のための色々な手立てをし、その一つがゆずを植えることでした。飢餓になると、山間の農民は塩を買うこともおぼつかなく、味噌や醤油も作れません。そこで、ゆずを塩代わりに防腐や調味料として使うため、日陰でも育つゆずを家の裏や山裾に必ず植えることを勧めたのです。今も山裾にゆずの古木が多いのはそのためです。

ゆずの花

ゆず



安田川と
奈半利川に沿って
ゆず畑が広がっています。

中芸ゆず栽培の啓蒙者、
中岡慎太郎ゆかりの地です。



中岡慎太郎宅跡

高知県指定史跡

ゆず栽培を奨励した中岡慎太郎の生誕地に生家が復元されています。近くに、博物館「中岡慎太郎館」があります。



中岡慎太郎遺髪埋葬墓地 北川村指定史跡

禁門の変の前に家族へ送られた中岡慎太郎の遺髪を埋葬した墓地です。遺体は坂本龍馬と共に京都の霊山護国神社に埋葬されています。



柚子搾汁機

ゆずの森加工場には、ゆずの産業化に伴い北川村内で開発された自動の柚子搾汁機が展示されています。現在でも家庭などで使われている手動の木製搾汁器は、ゆずの森加工場やゆずロードミュージアムで展示されています。



旧馬路営林署

魚梁瀬森林鉄道が現役だった昭和29年(1954)に馬路営林署庁舎として建設された建物です。現在は、馬路村農業協同組合の本所として活用されています。



ゆず畑の景観

ゆずは中芸地域の代表的な農産物で、栽培面積は約230ヘクタール(令和6年度)、生産量はいく年で4,000トン近くになり、日本一を誇ります。



ゆず料理

ゆずの皮を削って香りづけに使う地域が多い中、中芸地域では「ゆのす(柚子酢)」と呼んでゆず果汁を料理に用いてきました。たっぷりのゆのすと刻んだしょうが、ごまなどを加えた酢飯を使う田舎寿司が代表的な料理です。



地域で世代を越えて受け継がれてきた食文化を文化庁が「100年フード」と名付けて認定しています。中芸地域のゆず料理もその一つに認定されました。



ゆずはじまる祭

ゆずの収穫はじめを祝い、安全を祈願する祭です。馬路村で毎年10月末もしくは11月初めに開催されます。



慎太郎とゆずの郷祭り

ゆず栽培を奨励した北川村出身の中岡慎太郎の顕彰と、ゆずの収穫を祝う祭です。北川村で毎年10月末もしくは11月初めに開催されます。



柚子の古木 北川村指定天然記念物

樹高10m、幹回り1.5mのゆずの巨木です。樹齢300年を超えており、ゆずが古くから人々の暮らしの中にあつたことがわかります。

ゆずとりんてつ 構成文化財



安田町のゆず畑



中芸地域

天然林と植林地



千本山

樹齢200~300年にもなる天然の魚梁瀬スギが生育しています。登山口から展望台まで、巨木が林立する景観を楽しみながらハイキングができます。魚梁瀬スギは高知県の県木です。



朝日出山の杉

馬路村指定天然記念物

推定樹齢800年、高さ約34メートル、幹回り約10メートルの天然スギの巨木です。



藩政期の植林地

江戸時代後期の天保14年(1843)に植えられたスギ・ヒノキ林です。



北川村のゆず畑



野村式機関車

昭和中期に魚梁瀬森林鉄道で木材輸送に活躍した機関車で、高知県内の野村組工作所で製造されました。魚梁瀬丸山公園で展示されています。



運転体験 魚梁瀬森林鉄道 乗車体験

所在地 馬路村魚梁瀬丸山(丸山公園内)
 運行日 日曜日・祝日
 ※8月は土曜日も運行
 運行日以外は1団体につき
 プラス1,000円の予約料で
 リクエスト予約することができます。
 運行時間 10:00~15:30
 (お昼休み12:00~13:00)
 運転料金 小学生以上1,500円
 乗車料金 大人600円、小人(3歳以上)300円
 お問い合わせ 集落活動センターやなせ
 ☎0887-43-2055(平日9時~16時)



乗車体験 馬路森林鉄道

所在地 馬路村馬路3564-1
 運行日 日曜日・祝日※8月は毎日運行
 運行時間 8:30~16:30
 乗車料金 大人400円、小人300円
 お問い合わせ 馬路温泉 ☎0887-44-2026



林業で栄えた中芸地域を
支えた森林鉄道、
その規模は西日本最大でした。

隧道

五味隧道 国指定重要文化財

明治44年(1911)に建造された延長36.6メートルの石造隧道です。
下流側は土で埋められています。
対岸にある「まかいちよつて家」のバルコニーから全貌を眺めることができます。



オオムカエ隧道 国指定重要文化財

明治44年(1911)に建造された延長36.7メートルの石造の隧道です。安田町道として利用されています。



エヤ隧道 国指定重要文化財

明治44年(1911)に建造された延長33.2メートルの石造の隧道です。安田川流域の森林鉄道の隧道の中で最も下流にあります。



バンダ島隧道 国指定重要文化財

明治44年(1911)に建造された延長37.5メートルの石造の隧道です。安田町道として利用されています。

河口隧道

国指定重要文化財

大正2年(1913)に建造された延長89.9メートルの石造の隧道です。馬路村道として利用されています。



平瀬隧道 国指定重要文化財

明治44年(1911)に建造された延長70.6メートルの石造隧道です。



棧道・跨線橋



釜ヶ谷棧道 国指定重要文化財

安田川に張り出す岩盤を越えるために昭和2年(1927)に建造された、橋長12.3メートルの石造のアーチ橋です。高知県道として利用されています。



八幡山跨線橋 国指定重要文化財

昭和8年(1933)に建造された橋長7メートルの鉄筋コンクリート橋です。田野八幡宮の参道の途中にあります。



法恩寺跨線橋 国指定重要文化財

昭和8年(1933)に建造された橋長3.9メートルの石造のアーチ橋です。三光院の参道の途中にあります。

橋



立岡二号栈道

国指定重要文化財

昭和8年(1933)に建造された橋長61.2メートルの鉄筋コンクリート造の十連桁橋です。奈半利川沿いの田畑を越えるために架けられました。



堀ヶ生橋

国指定重要文化財

昭和16年(1941)に建造された橋長46.9メートルの鉄筋コンクリート造のアーチ橋です。高知県道として利用されています。



明神口橋

国指定重要文化財

昭和4年(1929)に建造された橋長43.2メートルの鋼製のトラス桁橋です。安田町道として利用されています。



二股橋 国指定重要文化財

昭和15年(1940)年に建造された橋長46.5メートルのコンクリート造の二連アーチ橋です。高知県道として利用されています。



釜ヶ谷橋 国指定重要文化財

大正15年(1926)に建造された橋長12.3メートルの鋼製の桁橋です。高知県道として利用されています。



犬吠橋 国指定重要文化財

大正13年(1924)に建造された橋長41メートルの鋼製のトラス桁橋です。高知県道ですが、破損により2026年2月現在通行止めとなっています。



小島橋 国指定重要文化財

昭和7年(1932)に建造された橋長143メートルの鋼製の二連トラス桁と五連桁のつながった橋です。北川村道として利用されています。



落合橋 国指定重要文化財

大正14年(1925)に建造された橋長37メートルの鋼製の二連桁橋です。馬路村道として利用されています。



井ノ谷橋 国指定重要文化財

大正13年(1924)に建造された橋長54.5メートルの鋼製のトラス桁橋です。北川村道として利用されています。



支線跡遺構群

魚梁瀬森林鉄道の支線で使われた軌道敷、擁壁、橋台などの遺構です。本線跡はほぼ道路化されていますが、支線跡は森林鉄道の雰囲気の色濃く残っています。



岡御殿

高知県保護有形文化財

岡家により天保15年(1844)に建てられた書院造の藩主宿泊所です。岡家は、材木業や廻船業で名を馳せた豪商田野五人衆に数えられ、御用銀の調達などで土佐藩と深い関係がありました。岡家に関する資料館として公開されています。



竹崎家住宅(旧高田屋)

国登録有形文化財

明治23年(1890)頃に建てられた商家建築で、主屋と離れは木造平屋建て、蔵は土蔵造二階建てで土佐漆喰壁に水切瓦を付けています。喫茶店として活用されており、蔵は資料館となっています。



旧市川医院

国登録有形文化財

大正2年(1913)に建てられた木造平屋建ての医院建築で、天井板などには天然魚梁瀬杉などの現在は入手困難な地元産の木材が使われています。安田まちなみ交流館・和(なごみ)として一般公開され、郷土史などの企画展が行われています。



金林寺薬師堂

国指定重要文化財

室町時代後期(15世紀頃)に建築され、ヒノキ、スギの良材を用いた上質な造りに特徴があります。金林寺は真言宗の古刹で、寺伝では弘法大師(774-835)が開創したといわれています。



北寺所蔵の仏像群

国指定重要文化財

北寺の本尊である木造薬師如来坐像を含む9躯の仏像です。弘法大師が室戸の西寺(金剛頂寺)を建立する際、運搬のため安田川に流した木材が引っかけた場所に北寺を建立したと伝えられています。



森家住宅(旧野村茂久馬邸)

国登録有形文化財

土佐の交通王と呼ばれた野村茂久馬(1870-1960)が、大正7年(1918)頃に建てた住宅です。主屋は木造二階建てで、下見板張りに縦長窓を開けた洋風仕様、敷地の周囲には浜石を練積みした石塀「いしくろ」があります。野村茂久馬は野村式機関車(P6)を製造した野村組工作所の創設者です。



濱川家住宅

国登録有形文化財

大正期にそれぞれ建てられた土蔵造二階建ての酒蔵と、木造平屋建ての離れがあります。濱川家は、藩政末期・明治期は廻船業と木材業で栄え、大正期には酒造業を営んでいました。
※内部は非公開です。



南商店

国登録有形文化財

大正後期の商家建築で、店舗兼主屋は木造二階建ての切妻造、妻壁には土佐漆喰塗で五段の水切り瓦を配しています。
※内部は非公開です。



旧柏原家住宅

国登録有形文化財

昭和前期に建てられた木造平屋建ての和風住宅建築で、地元産の良材がふんだんに用いられています。安田まちなみ交流館・和(なごみ)として一般公開されています。



濱田典彌家住宅

国登録有形文化財

昭和前期に建てられた木造平屋建ての主屋や、明治後期の土蔵があります。



三光院絵馬(材木流し)

奈半利町指定有形文化財

明治12年(1879)に奉納された絵馬で、奈半利川の水流を利用して木材を運ぶ様子が描かれています(高知県立歴史民俗資料館保管)。



星神社のお弓祭り

高知県保護無形民俗文化財

北川村木積(こつも)にある星神社で西暦奇数年の1月8日に行われる祭。12人の射手が弓を射かけて五穀豊穡を祈願します。



多気坂本神社絵馬(材木流し)

奈半利町の水流を利用して木材を運ぶ様子が描かれた絵馬です。
奈半利町指定有形文化財

その他の構成文化財

寺田正写真文庫

林業関係を中心とした写真資料で、魚梁瀬森林鉄道の写真がたくさん含まれています(高知市立市民図書館所蔵、オーテピア高知図書館の収蔵品検索データベースで閲覧可)。

四国森林管理局所蔵の林業関係写真

大正～昭和初期の林業関係の写真資料で、魚梁瀬森林鉄道創設期の貴重な写真が含まれています。

馬路村郷土館所蔵の木材生産用具

人力により伐採が行われていた時代に、山で木を伐り、集め、運ぶ仕事に使われた道具です。
※馬路村郷土館は2026年2月現在、休館しています。

ゆずグルメ



北川村ゆずサイダー
(北川村ゆず王国株式会社)



ごっくん馬路村
(馬路村農業協同組合)



田舎寿司

フードショップきよおか (馬路村) 味工房じねん (安田町)

高橋円次商店 (北川村) 直 (田野町)

田中勳介商店 (北川村)

主に山の幸を使う寿司。酢飯にはゆず(ゆず果汁)がふんだんに用いられ、お店や家庭によって個性が光ります。

まだまだある

ゆずとりんてつスポット



ゆずの森加工場

ゆずドリンクを製造する馬路村農業協同組合の工場です。「ごっくん馬路村」の製造や梱包・出荷の様子を、予約不要で見学できます。日曜日も見学できますが、機械は止まっています。



モネの庭

フランスの印象派画家クロード・モネが愛した自宅庭園を再現した庭園です。ジヴェルニーにある本家より、世界で唯一「モネの庭」と名乗ることを許され、モネの絵画の風景が広がります。園内ではゆずの木を見ることができ、カフェではゆずを使ったメニューもお楽しみいただけます。



インクライン

森林鉄道のインクラインを模した観光用ケーブルカーで、タンクの水の重さで動きます。森林鉄道では急斜面の上部から木材を下ろすために使われ、木材を積んだ台車の重さで動かしていました。馬路森林鉄道(P6)と同じ日に営業しています。



日本遺産ゆずロードミュージアム



日本遺産「森林鉄道から日本一のゆずロードへ」のストーリーの入口となるミュージアムです。魚梁瀬森林鉄道の施設を再現したジオラマ、構成文化財の古写真、ゆずの収穫道具、森林鉄道やゆずの映像など、貴重な資料が展示されています。

所在地／高知県安芸郡安田町大字正弘1532番地外
安田町多目的交流センターなかやま内

定休日／土曜日・日曜日・祝日

※特別開館時は協議会SNSで案内

開館時間／10:00～16:00

料金／無料

パネル展示



ゆずの部屋



ジオラマ



プラレール

お問い合わせ／中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会 ☎0887-30-1865 (平日8:30～16:30)

観光ガイド

日本遺産中芸ゆずと森林鉄道ガイド会



日本遺産ゆずとりんてつ構成文化財を中心に歩き・自家用車・E-バイクにてご案内します。
料金／◎2名申込のE-バイクツアー(6時間・昼食付) 9,000円/1人
※5日前までに要予約

お問い合わせ／日本遺産中芸ゆずと森林鉄道ガイド会 ☎0887-30-1865
(中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会内)

なはり浦の会



登録有形文化財の古民家を巡る奈半利町のまち歩きをご案内します。
料金／(個人)1～4人のとき 1,000円/1人
(団体)5～9人のとき 5,000円/ガイド1人
(団体)10人以上のとき 8,000円/ガイド1人
※1週間前までに要予約

お問い合わせ／集落活動センター なはりの郷 ☎0887-30-1816

むらの案内人クラブ

馬路村のむら歩きをご案内します。



料金／◎3時間 4,000円/ガイド1人
※要予約

お問い合わせ／まかいちよって家 ☎0887-44-2333

魚梁瀬山の案内人クラブ

千本山など魚梁瀬の山歩きをご案内します。



料金／◎千本山登山口から展望台まで1バック(3時間程度) 3,000円/1グループ(おのおの9人まで)
※要予約

お問い合わせ／馬路村役場魚梁瀬支所 ☎0887-43-2211

田野案内人「賛」

登録有形文化財などを巡る田野町のまち歩きをご案内します。



料金／(個人)18歳以上 500円/1人
(個人)中学生以上18歳未満 200円/1人
(個人)小学生以下 無料/1人
(団体) 2,000円/ガイド1人
※1週間前までに要予約

お問い合わせ／田野町教育委員会 ☎0887-38-2511